

---

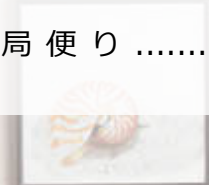
# 特ラ機構レポート

No.210

令和8年5月1日

---

令和7年度 第6回 理事会 報告 .....	2
運用連絡受信数と調整のための送信数 .....	8
特定ラジオマイクが運用された主なイベント ....	10
1.2GHz 帯運用周波数帯域の確認に関するお願い ...	11
新規加入会員紹介コーナー .....	12
イベント情報 .....	14
ちょっとブレイク .....	15
特ラ機構 事務局移転のお知らせ .....	19
事務局 便り .....	20



## [ 理事会報告 ] 令和7年度 第6回 理事会

1. 日 時 令和8年4月15日(水) 15時～17時
2. 場 所 TKP 池袋カンファレンスセンター 5階 ホール5A
3. 出席者 (理事長・理事・監事総数 20名)  
出 席 [理事長] 渡邊邦男  
[理 事] 池上行大, 岩井佳明, 上田好生, 大塚 豊, 小野良行, 金光浩昭,  
北口紀雄, 古藤 崇, 鈴木久利, 瀬谷正夫, 長屋義昭, 本間俊哉,  
右田研介, 山下伸一郎 (代理出席), 吉田諭敏  
[監 事] 國枝義久  
委任出席 [理 事] 川瀬健児, 小林 敬  
欠 席 [理 事] 伊藤 博

### 4. 令和7年度 第6回理事会 開催挨拶

本日は暑い中、第6回理事会にご出席いただきありがとうございます。

今年度最後の理事会は池袋での開催となりました。事務局も今月末から池袋へ引っ越しますので、日々ダンボールが積み上がってきて、少しばかり慌ただしい雰囲気になっています。

4月27日から池袋で業務を開始することになっておりますので、よろしくお願いいたします。

長年、当機構の理事を勤めていただいた萩原桂吾様が所属先の株式会社総合舞台を退職され、後任の理事として、山下伸一郎様を推薦していただきました。正式には6月の総会にて承認された後の就任となりますが、本日は萩原様の代理として参加されておりますので、ひと言だけご挨拶をいただければと思っております。山下様、よろしくお願いいたします。

⇒ 山下伸一郎様のご挨拶があった後、議題へと入った。

### 5. 議 題

#### 【報告事項】

- (1) 運用連絡と調整の近況について (理事会資料: 8～11頁)
    - a. 運用連絡数の推移
    - b. イベント報告
    - c. 干渉報告
- ⇒以上について質問・意見を募ったが特になかった。

#### (2) 各委員会報告

- ① 賛助委員会  
今期、賛助委員会の開催はなかった。
- ② 技術委員会  
今期、技術委員会の開催はなかった。

③ 特ラ機構 技術賞委員会

第 26 回特ラ機構技術賞の作品募集について、令和 8 年 3 月 31 日(火)をもって募集を締め切った。応募作品は一般部門 7 作品、学生部門 5 作品となっている。審査会は令和 8 年 4 月 20 日(月)におこなう予定。

④ 編集委員会 特ラ機構レポート

第 113 回編集委員会は、令和 8 年 3 月 16 日(月)に当機構事務局にて開催した。出席者は 4 名。209 号を振り返って反省点等を確認したほか、210 号への掲載記事の検討、記事作成分担をおこなった。

209 号は、令和 8 年 2 月 27 日(金)に発送済。210 号は 5 月上旬に発送予定となっている。内容は、理事会報告、新規加入会員紹介、ちょっとブレイクなどを掲載予定。

なお、長年にわたって本レポートの編集をお手伝いいただいていた、一步舎・加藤修様が 210 号をもって引退されることになった。今後について、現在の印刷業者が編集補助等を引き継いで対応することになっている。

(3) 総務省関係、ARIB 関連の報告

① 総務省関連

令和 8 年 2 月 5 日(木)と 2 月 16 日(月)の 2 日間、総務省による試験事務にて、広帯域多チャンネル音声システム「WMAS」導入に係る技術的な条件に関するテスト会が開催された。

令和 8 年 3 月 6 日(金)、「WMAS」に関する調査検討会(第 2 回会合) Web ミーティングが開催された。

② 各総合通信局関連

今期は年度末にて総合通信局の担当者に一部異動があったが、後任の紹介を受け、各種免許申請等には不備がないよう対応している。それ以外の動きについては以下のとおり。

令和 8 年 3 月 10 日(火)、当機構事務局の 2 名(石川, 甲田)にて総務省関東総合通信局無線通信部陸上第三課へ伺った。当機構がおこなう運用調整に関する実際の手順・流れ等を説明したほか、意見交換をさせていただいた。

③ 電波産業会 (ARIB) 関連

令和 8 年 2 月 27 日(金)、ホテルニューオータニ(東京都千代田区)にて開催された懇談会に甲田テクニカルチーフが出席した。

(4) TV ホワイトスペース等利用システム運用調整協議会 (WS 協議会)

① 統合 DB 作業班

令和 8 年 3 月 25 日(水)、統合 DB 作業班が Web 会議にて開催された。議題としては、楽天モバイル株式会社が開発を進める干渉判定システムと協議会が所有する運用調整システムとの連携に関する事柄や、今期・下期における改修項目などが協議された。

② 幹事会

令和 8 年 3 月 31 日(火)、Web 会議にて「第 73 回幹事会」が開催された。主な議題は以下のとおりで、それぞれについて事務局からの説明があり、質疑応答の後、承認された。

- (1) 令和 7 年度 活動状況及び経理状況
- (2) 会費規程の改正について
- (3) 令和 8 年度 収支予算
- (4) その他

なお、(2)については、電波有効利用促進センター(2.3GHz 帯における FPU と携帯電話の「ダイナミック周波数共用」を管理・運営)の運用調整費に関する規定の改正となっている。

### ③ WS 協議会 総会

令和 8 年度の総会は、令和 8 年 6 月 25 日(木)に実施される予定となっている。

### ④ WS 協議会負担金の支払い状況

令和 7 年度第 4 四半期における WS 協議会負担金(登録費・運用調整費)について、合計 210,850 円となった。令和 8 年 3 月 13 日(金)、支払いを完了した。

### (5) チャンネルリストについて(令和 8 年 2 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日)

令和 8 年 2 月 4 日(水)、総務省関東総合通信局、近畿総合通信局、東海総合通信局並びに北陸総合通信局を通じて、TVWS チャンネルリストの新規検討を申請した。

同、新規件名は 2 月 24 日(火)に運用調整システムへ登録を完了した。

令和 8 年 3 月 5 日(木)、総務省関東総合通信局並びに近畿総合通信局を通じて、TVWS チャンネルリストの新規検討を申請した。

同、新規件名は 3 月 23 日(月)に運用調整システムへ登録を完了した。

#### <新たに追加された施設>

LIVEHOUSE BRONZE, 金沢スタジアム, サンガスタジアム by KYOCERA,  
MTG 名古屋四季劇場, (仮称) リアルアキバスクエア

#### <変更修正された施設>

(仮称) Walk プロジェクト	⇒ NCB ホール
東京デザインセンター	⇒ BLAZE Gotanda
浜町スタジオ	⇒ パンダスタジオ
東京辰巳国際水泳場	⇒ 東京辰巳アイスアリーナ
東京ドームシティ TOKYO DOME CITY HALL	⇒ カナデビアホール

### (6) 情報通信月間推進協議会報告

令和 8 年 3 月 17 日(火)、同協議会事務局へ情報通信月間参加行事の登録をおこなった。行事の概要は未定の部分が多いが、決まり次第、当機構 Web サイト等で告知する。

「特定ラジオマイク運用セミナー(仮)」

日時：令和 8 年 7 月頃

場所：未定

## (7) 令和 8 年度の再免許手続き

令和 8 年 5 月末日に失効する、特定ラジオマイク無線局の再免許（免許更新）手続きについては、次のとおりとなっている。

再免許対象会員・無線局数 351 会員 6,700 局（令和 7 年 10 月 15 日現在）

### <再免許手続き内訳>

（機構扱い分） 323 会員 6,303 局

（自社申請分） 11 会員 116 局

※差分は退会に伴う廃止、もしくは再免許せず廃止したもの

※機構扱い 323 会員のうち、30 会員が電子委任状を利用

再免許対象の会員数・局数を前年度と比較すると、284 会員減、15,227 局減となった。来年度は 300 会員、4,294 局が再免許対象となる見込み。

なお、新しい免許状の送付について、昨年 10 月から電子免許状となったため、郵送ではなく、E メールにて令和 8 年 5 月中旬から順次送信予定となっている。

## (8) 短信、その他

### ① 楽天モバイル株式会社 700MHz 帯利用に向けた今後の対応に関して

令和 7 年度に実施された特定ラジオマイク専用帯を使用する固定会員へのアンケートに基づき、1.7GHz 帯など 700MHz 帯以外の携帯電話周波数でカバーされているエリア内にある固定会員の施設や、5G 周波数でカバーされている対策施設での電波調査に協力し、干渉判定の軽減や特定ラジオマイクユーザーの安心・安全運用につながるよう、サポートに努めている。

現在、楽天モバイル側の混信判定システム（運用調整システムの特定ラジオマイク専用帯に係る運用データの出力を受けて判定）のサーバー構築が進められているが、携帯電話基地局の停波制御などに関するデータの扱いなどについても議論を深めていく。

### ② 愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会について

令和 8 年 2 月 17 日(火)、公益財団法人愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会組織委員会情報システム課に甲田テクニカルチーフがご挨拶をさせていただいた。

今後、令和 8 年 4 月中旬にも同競技大会に関する打ち合わせをおこなう予定。

### ③ 事務所の移転の進捗状況について

各業者との間で、新事務所のレイアウト作成、引越し、OA 機器移設、電気工事等について打ち合わせをおこない、それぞれ発注等を進めている。また、住所変更に係る手続きの確認、現事務所にある物品の整理・処分などをおこなっている。なお、『特ラ機構レポート 209 号』や特ラ機構 Web サイトにて、事務局移転の告知をした。

今後のスケジュールは以下のとおり。

令和 8 年 4 月 24 日(金) 18:00 早稲田事務所での業務を終了

令和 8 年 4 月 27 日(月) 10:00 池袋新事務所での業務を開始

※ 4 月 25 日(土)の運用調整業務は通常どおり実施する。

## (9) 令和 7 年度収支報告

⇒ 別紙の「令和 7 年度 収支計算書」(※) に沿って、令和 7 年度の特異な収入や支出について事務局から説明があった。

※令和 8 年 5 月下旬に各会員へ送付予定の総会議案書をご参照ください。

⇒ 以上の報告事項について、質問・意見を募ったが特になく承認された。

## 6. [審議事項]

### (1) 会員の入退会 令和 8 年 2 月～令和 8 年 3 月分

#### [入 会]

東 北：株式会社あきた芸術村(わらび劇場)  
関 東：桐山裕行, ぴあ株式会社(東京建物ぴあシアター), 合同会社 MPMS,  
株式会社コンベンションリンケージ(つくば国際会議場),  
株式会社目組(汐留ビルディング), 望月 翔太, 株式会社 MSERRNT(漆乃煌庵),  
株式会社 HSBc, ユニバーサルミュージック合同会社(The Stage),  
有限会社タクティクスレコーズ, 株式会社 326, 合同会社 syuz' gen(座・高円寺)  
近 畿：NTT 都市開発ホテルマネジメント株式会社(カペラ京都),  
株式会社 LUNA, 株式会社プラスワン・クリエイト  
九 州：一般財団法人 NCB ホール財団(NCB ホール), 株式会社オーティス

#### [退 会]

北海道：株式会社ジェイコム札幌  
東 北：一般社団法人わらび座, 会津美里町(じげんホール)  
関 東：株式会社ソフマップ, 株式会社トレジャーアイランドコーポレーション,  
株式会社ビジョン・ユニバース, 刀イマーシブ合同会社(イマーシブ・フォート東京),  
株式会社ジャパネットたかた(ジャパネットたかた東京スタジオ),  
学校法人東京電機大学, 株式会社ニュートン(ベノア横浜), 株式会社スタジオアルタ,  
一般財団法人茨城県科学技術振興財団(つくば国際会議場), 株式会社神奈川共立,  
特定非営利活動法人劇場創造ネットワーク(座・高円寺), 日本テレビ音楽株式会社  
北 陸：木戸西 秀一  
東 海：名古屋鉄道株式会社(名鉄ホール)  
近 畿：有限会社ウィル, 株式会社 ongaq  
九 州：株式会社 LCR デザイン, 株式会社コシマプロダクション

⇒ 以上の入退会について、質問・意見を募ったが特になく承認された。

### (2) 会員数

令和 8 年 3 月末現在 1,733 会員

### (3) 無線局数

令和 8 年 3 月末現在 51,898 局

(内 訳)

< 470 ~ 714MHz >

ラジオマイク	35,566 局 (アナログ: 22,986 局, デジタル: 12,580 局)
イヤモニ	2,837 局 (アナログ: 2,767 局, デジタル: 2 局, アナ&デジ: 68 局)

< 1.2GHz 帯 >

ラジオマイク	13,440 局 (アナログ: 724 局, デジタル: 12,716 局)
イヤモニ	55 局 (アナログ: 10 局, デジタル: 0 局, アナ&デジ: 45 局)

合 計	51,898 局 (アナログ: 26,487 局, デジタル: 25,298 局, アナ&デジ: 113 局)
-----	--

#### (4) 理事の辞任と交替

現理事である萩原桂吾氏(株式会社総合舞台)の退職に伴い、所属組織内にて理事を交替したい旨の申し出があり、新理事候補として山下伸一朗氏(株式会社総合舞台)が推薦された。令和8年度の総会にて承認の後、正式交替としたい。

#### (5) 令和8・9年度役員改選について

令和8・9年度の役員推薦について、理事監事候補者推薦委員会の推薦案を令和7年度第5回理事会にて審議、賛同を得た。その時点では受諾を確認中だった下記の2名についてもご快諾いただけたため、正式に新理事候補として提案する。

新理事候補	風上哲也 氏 (ケイズサウンド株式会社)
新理事候補	福澤裕之 氏 (那覇文化芸術劇場)

また、令和8年6月20日(土)に退職する木村和子事務局長について、理事監事候補者推薦委員会に追加推薦されたため、新理事候補として提案する。

新理事候補	木村和子 氏
-------	--------

⇒ 以上の審議事項について意見を募ったが特になく、満場一致の承認を得た。

⇒ その後、事務局から別途配布の総会議案書(案)について説明があり、気付いた点などがあつた際には、事務局までご意見を寄せていただくようお願いがあつた。また残りの時間にて、各理事から近況報告などを頂戴して、第6回理事会は閉会となつた。

# 運用連絡受信数と調整のための送信数

2026年2月～3月(令和7年度)

## 運用連絡受信数：月別の推移

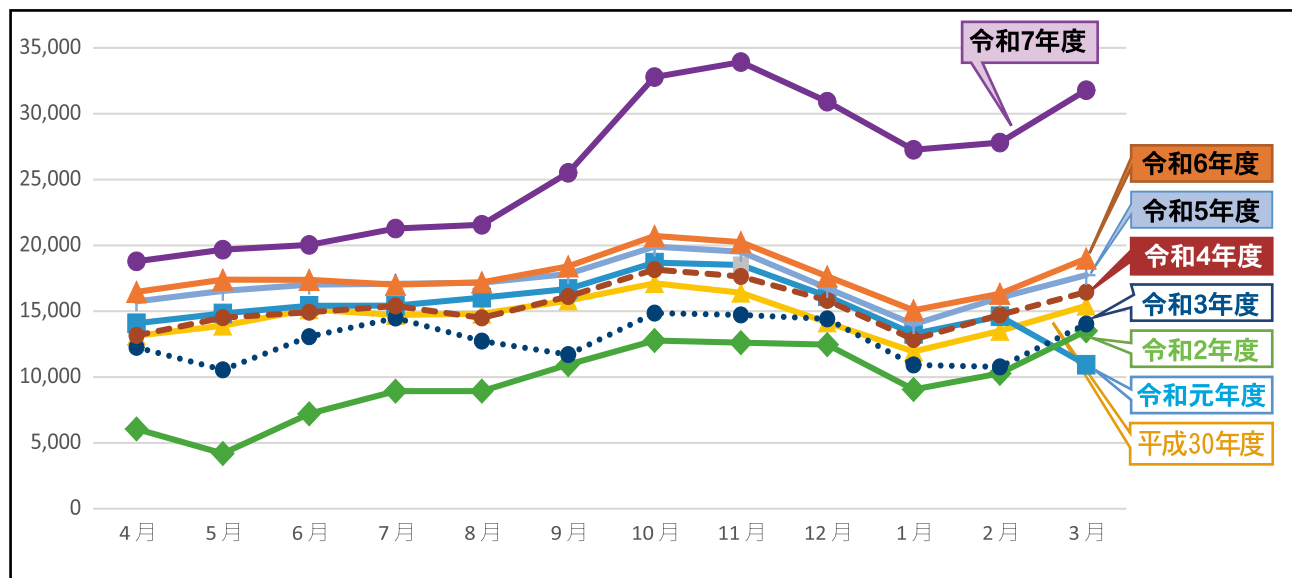
表-1 各年度 運用連絡受信数（月別の比較）

この表における 数値のアンダーラインは月ごとの最大値

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年計	月平均
H30年度	13,007	13,770	15,012	14,591	14,685	15,690	17,014	16,290	14,013	11,792	13,374	15,294	174,532	14,544
R元年度	13,954	14,708	15,290	15,302	15,914	16,577	18,593	18,407	16,023	13,146	14,491	10,788	183,193	15,266
R2年度	5,875	3,996	7,038	8,769	8,766	10,791	12,634	12,475	12,324	8,896	10,125	13,374	115,063	9,589
R3年度	12,118	10,396	12,929	14,358	12,593	11,560	14,734	14,594	14,292	10,771	10,622	13,902	152,869	12,739
R4年度	13,023	14,383	14,801	15,274	14,367	16,003	18,061	17,533	15,703	12,715	14,601	16,341	182,805	15,234
R5年度	15,624	16,427	16,906	16,969	17,057	17,723	19,810	19,423	16,635	13,879	15,908	17,633	203,994	17,000
R6年度	16,353	17,287	17,279	16,909	17,089	18,314	20,633	20,161	17,546	14,950	16,217	18,908	211,646	17,637
R7年度	<u>18,692</u>	<u>19,582</u>	<u>19,946</u>	<u>21,198</u>	<u>21,484</u>	<u>25,459</u>	<u>32,779</u>	<u>33,925</u>	<u>30,897</u>	<u>27,218</u>	<u>27,770</u>	<u>31,774</u>	310,724	25,894

受信数：前年比 1.14倍 1.13倍 1.15倍 1.25倍 1.26倍 1.39倍 1.59倍 1.68倍 1.76倍 1.82倍 1.71倍 1.66倍 1.47倍

各年度 月別「運用連絡受信数」折れ線グラフ



【表と折れ線グラフについて】

今年度(2025年度)からIの表と折れ線グラフを、「各年度別の運用連絡:受信数」に変更しました。それに伴い、2014年の周波数移行時から掲載してきた「運用連絡と調整の総件数」は、下段IIIに表のみを掲載しています。

## I. 表と折れ線グラフから運用連絡受信数を比較する

- (1) 2024年6月末から、専用帯に係る楽天モバイル基地局の登録と運用が始まり、2025年度以降登録数が増加。当期3月31日時点では336局が稼働している。その影響を受け、運用連絡受信数が大幅に増加している。

【前号の訂正】特ラ機構レポート209号(8ページ)1.【誤】(1)今年度の6月末から 【正】(1)2024年6月末から

## II . 当期の運用連絡受信数および調整の送信数を前年度と比較する

### (1) 1ヵ月間の受信数II (A-1) および 送信数II (B-1) で、当期の2月と3月を振り返る

- ・受信数では、2月が11,553件増の27,770件(1.71倍)、3月は12,866件増の31,774件(1.68倍)となった。
- ・送信数も、楽天モバイルとの専用帯ガードバンドに関わる運用調整数が7月から徐々に増加した影響を受け当期2月が46,312件増の66,788件、3月は55,085件増の80,695件という急激な伸びを示した。

令和7年度	2025年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2026年1月	2月	3月
前年	16,353	17,287	17,279	16,909	17,089	18,314	20,633	20,161	17,546	14,950	16,217	18,908
当年	18,692	19,582	19,946	21,198	21,484	25,459	32,779	33,925	30,897	27,218	27,770	31,774
増減	+2,339	+2,295	+2,667	+4,289	+4,395	+7,145	+12,146	+13,764	+13,351	+12,268	+11,553	+12,866

令和7年度	2025年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2026年1月	2月	3月
前年	19,717	23,338	22,831	22,375	23,845	28,643	25,974	25,770	22,989	19,504	20,476	25,610
当年	24,987	25,037	26,570	32,371	35,551	45,788	69,888	78,385	74,892	68,098	66,788	80,695
増減	+5,270	+1,699	+3,739	+9,996	+11,706	+17,145	+43,914	+52,615	+51,903	+48,594	+46,312	+55,085

### (2) 【2ヵ月間の受信数II (A-2) と送信数II (B-2)】を前年と比較

【受信数】2月+3月2ヵ月間の受信数は、前年比24,419件増の59,544件となった。

【送信数】2月+3月2ヵ月間の送信数は、前年比101,397件増の147,483件となった。

令和7年度	(12月+1月)	(2月+3月)
前年	32,496	35,125
当年	58,115	59,544
増減	+25,619	+24,419

令和7年度	(12月+1月)	(2月+3月)
前年	42,493	46,086
当年	142,990	147,483
増減	+100,497	+101,397

## III . 各年度の月別「運用連絡と調整の総件数」から、2ヵ月間を比較

### (1) 2ヵ月間の運用連絡と調整の総件数

総件数2ヵ月間(2月+3月)に関しては、前年比125,816件増の207,027件となっている。

### (2) 【運用連絡受信数に対する 調整のための送信数の比率】

2月+3月の平均比率は2.48倍となっている。

令和7年度	総件数(12月+1月)	総件数(2月+3月)
前年	74,989	81,211
当年	201,105	207,027
増減	+126,116	+125,816

令和7年度	総件数(12月+1月)	総件数(2月+3月)
a: 受信数	58,115	59,544
b: 送信数	142,990	147,483
a+b: 総件数	201,105	207,027
b/a 比率	2.46	2.48

各年度月別運用連絡と調整の総件数

表における数値のアンダーラインは月ごとの最大値

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
R元年度	31,172	34,184	35,213	37,136	40,348	40,598	50,306	44,561	41,152	32,302	35,054	22,921	444,947	37,079
R2年度	12,780	8,139	13,485	16,543	17,164	21,739	26,511	25,387	27,059	18,711	21,369	29,520	238,407	19,867
R3年度	25,753	21,727	28,067	33,609	39,896	28,938	31,758	29,970	32,419	24,898	23,774	34,194	355,003	29,584
R4年度	28,542	31,766	32,990	34,732	33,017	38,963	41,572	39,666	36,977	29,098	32,998	39,697	420,018	35,002
R5年度	35,629	37,617	38,656	37,804	39,047	41,695	50,307	45,091	39,103	32,497	37,134	41,509	476,089	39,674
R6年度	36,070	40,625	40,110	39,284	40,934	46,957	46,607	45,931	40,535	34,454	36,693	44,518	492,718	41,060
R7年度	43,679	44,619	46,516	53,569	57,035	71,247	102,667	112,310	105,789	95,316	94,558	112,469	939,774	78,315
前年との差	+7,609	+3,994	+6,406	+14,285	+16,101	+24,290	+56,060	+66,379	+65,254	+60,862	+57,865	+67,951	+447,056	

# 特定ラジオマイクが運用された主なイベントおよび干渉報告

【理事会資料】  
(令和8年2月～3月)

## 1. 主なイベント

イベント名	日程	施設	運用社数	ブース数	マイク・イヤモニ			計
					TVWS	711-714	1.2GHz	
フィッシングショー大阪 ※	2月7日～8日	インテックス大阪	7	12	4	2	49	55
大阪オートメッセ 2026 ※	2月13日～15日	インテックス大阪	5	6	50	9	0	59
HCJ2026、ProLight & ProVisual 2026 ※	2月17日～20日	東京ビッグサイト	11	15	12	0	81	93
スーパーマーケットトレードショー 2026 ※	2月18日～20日	幕張メッセ	9	12	8	0	30	38
CP+ 2026 ※	2月26日～3月1日	パシフィコ横浜	13	22	33	0	93	126
リテールテックジャパン 2026 ※	3月3日～6日	東京ビッグサイト	8	11	2	4	27	33
ジャパンゴルフフェア 2026 ※	3月6日～8日	パシフィコ横浜	13	14+ 4取材	26	4	52	82
FOODEX JAPAN 2026 ※	3月10日～13日	東京ビッグサイト	9	21	1	0	77	78
東京モーターサイクルショー 2026 ※	3月27日～29日	東京ビッグサイト	13	13+ 2取材	38	0	47	85
Anime Japan 2026 ※	3月28日～29日	東京ビッグサイト	23	25+ 2取材	118	0	78	196

※ 周波数配分を実施したイベント

### 【周波数配分】

令和8年2月26日(木)～3月1日(日)、パシフィコ横浜(神奈川県横浜市)で開催された『CP+ 2026』において、TVWS帯5社6ブース33局、1.2GHz帯8社16ブース93局、合計126局の周波数配分をおこなった。

1.2GHz帯の使用が93局と非常に多く、各ブースの位置関係から周波数を割り当てるのに苦労した。各会員のご協力により、運用連絡票へブース名を記載していただいたことで、円滑に周波数配分をおこなうことができた。

令和8年3月28日(土)～3月29日(日)、東京ビッグサイト(東京都江東区)で開催された『Anime Japan 2026』において、TVWS帯11社13ブース118局、1.2GHz帯12社12ブース取材2社78局、合計196局の周波数配分をおこなった。

オフィシャルのステージを担当された株式会社トゥ・ミックスの佐藤様から、TVWS帯・1.2GHz帯の周波数プランをご提供いただいたことで、全体の運用調整を安全におこなうことができた。ご協力をいただき感謝申し上げます。

なお、令和8年3月27日(金)、当機構事務局職員3名(甲田、船越、田山)にて、周波数プランの研修を兼ねて同会場内の視察をおこなった。今回、ご協力をいただいたAnime Japan運営事務局には感謝申し上げます。

## II. 干渉報告

株式会社ミックスの南信也様から当機構事務局へ連絡があった。令和8年2月9日(月)、「照葉積水アリーナ」(福岡県福岡市)において、特定ラジオマイク専用帯(711～714MHz)の周波数にて干渉事故が発生したとの報告を受けた。

発生当時の記録を事務局へ送ってもらい、干渉時の「キー」というノイズと「WirelessWorkbench 6」(Shure)の波形などを確認した。同日使用されていた送信機が「UHF-RM6」(Shure)であったことから、シュア・ジャパン株式会社にも同記録を確認していただいたが、「高周波による影響ではないか」との回答を得た。

以上のことから、総務省九州総合通信局電波監理部監視調査課へ連絡したところ、令和8年3月9日(月)～10日(火)の2日間、照葉積水アリーナ周辺にて同局による電波調査を実施していただいたが、今回の干渉事故の原因は不明であった。

以上

### 1.2GHz 帯運用周波数帯域の確認に関するお願い

現在、1.2GHz 帯の運用に関しましては、TV ホワイトスペース帯の運用と同じく周波数資源の有効活用の面からも、下記の様に周波数帯域を3分割しております。

1.2 L (Low) (1240.025 ～ 1246.000MHz)

1.2 M (Middle) (1246.025 ～ 1251.975MHz)

1.2 H (High) (1253.025 ～ 1259.975MHz)

昨年、移動会員が運用連絡票に記載した周波数帯域とは異なる帯域で誤って運用した為、隣接する固定会員にご迷惑をお掛けするという事例が発生しました。

従来にも増して1.2GHz 帯の運用もきめ細やかな調整が必要になってきておりますので、運用に際しては運用帯域の確認に加え、運用周波数の確認もお願い致します。

## 新規加入会員紹介コーナー

令和8年2月～3月

## 東 北

会員番号 020-0065			固定・移動会員
株式会社あきた芸術村（わらび劇場）			
-	-	1.2GHz 帯	シュア…22局
【コメント】 秋田にある劇団わらび座です。日本発のオリジナル・ミュージカルを上演しています。 これからも伝統文化を日本中に発信していきますので、引き続きよろしくお願いいたします。			

## 関 東

会員番号 030-1337			移動会員
合同会社 MPMS			
-	-	1.2GHz 帯	シュア…2局

会員番号 030-1338			固定会員
株式会社コンベンションリンケージ（つくば国際会議場）			
WS 帯	専用帯	1.2GHz 帯	パナソニック…6局 シュア…12局

会員番号 030-1340			移動会員
望月 翔太			
WS 帯	専用帯	-	オーディオテクニカ…6局

会員番号 030-1341			固定会員
株式会社 MSERRNT（漆乃煌庵）			
-	-	1.2GHz 帯	シュア…1局

会員番号 030-1342			移動会員
株式会社 HSB <sub>e</sub>			
-	-	1.2GHz 帯	シュア…4局
【コメント】 イベント、商業演劇、スポーツ関連、式典・表彰、ブランド等幅広くお声がけ頂いております。 今後ともよろしくお願いいたします。			

会員番号 030-1343			固定会員
ユニバーサルミュージック合同会社（The Stage）			
-	-	1.2GHz 帯	シュア…4局

## 関 東

会員番号 030-1344			移動会員
有限会社タクティクスレコーズ			
-	-	1.2GHz 帯	シユア…6局

会員番号 030-1345			移動会員
株式会社 326			
WS帯	専用帯	-	シユア…1局

会員番号 030-1346			固定・移動会員
合同会社 syuz' gen (座・高円寺)			
WS 帯	専用帯	-	ゼンハイザー…52 局
【コメント】 この度、2026 年4月より座・高円寺の指定管理者となりました。地域に根ざした劇場として、舞台芸術の創造と発信に取り組んでまいります。よろしくお願いいたします。			

## 近 畿

会員番号 070-0383			固定会員
NTT 都市開発ホテルマネジメント株式会社 (カペラ京都)			
-	-	1.2GHz 帯	シユア…4局

会員番号 070-0384			移動会員
株式会社 LUNA			
-	-	1.2GHz 帯	シユア…1局

会員番号 070-0385			移動会員
株式会社プラスワン・クリエイト			
-	-	1.2GHz 帯	シユア…2局

## 九 州

会員番号 100-0128			固定会員
一般財団法人 NCB ホール財団 (NCB ホール)			
WS帯	専用帯	-	シユア…8局

会員番号 100-0129			移動会員
株式会社オーティス			
-	-	1.2GHz 帯	シユア…4局

## イベント情報

運用連絡票へのご使用ホール名やブース名などの詳細情報を都度コメント欄などにご記入頂き、どうもありがとうございます。

お手数をお掛けしておりますが、多チャンネルプランの作成で大変助かっております。引き続き宜しくお願い致します。

日 程	展 示 会 名	場 所
5月9日～5月10日	フィールドスタイルトーキョー 2026	東京ビッグサイト
5月20日～5月22日	インターフェックス Week 東京 2026 ★	幕張メッセ
5月20日～5月23日	第 67 回日本神経学会学術大会	パシフィコ横浜
5月27日～5月29日	人とくるまのテクノロジー展 2026 ★	パシフィコ横浜
6月10日～6月12日	電子機器 2026 トータルソリューション展 ★	東京ビッグサイト
6月10日～6月12日	第 40 回画像センシング展 2026	パシフィコ横浜
6月25日～6月26日	関西ロボットワールド 2026 ★	インテックス大阪

★：複数会員社による同時使用実績あり

## ♪ ルールを守って クリアな運用 ♪

### ちょっとブレイク原稿大募集！

皆様からの原稿をお待ちしております！今ハマっていること、お仕事のこと、大好きなアーティストのこと、ご当地自慢などなど・・・お題は自由です。

お名前を出したくない場合はペンネームでも OK です。

レポートに掲載させていただいた方には、些少ですが謝礼を差し上げております。

まずは下記アドレスまでお気軽にお問い合わせください。

Email : [office@radiomic.org](mailto:office@radiomic.org)





WOWOW 製作・三谷幸喜監督作品 105 分 1 カットムービー  
**映画「おい、太宰」録音レポート**  
 ～ワイヤレスマイクのみによる同時録音～  
 (前編) 映画録音技師 瀬川徹夫



カメラの動線と録音スタッフの配置

### 【はじめに】

この度の映画「おい、太宰」は、三谷幸喜監督による WOWOW 製作 1 カットムービーの第 3 作目である。これまでも「short cut」(山編)「大空港」(空編)が製作されており、本作はその流れを組む(海編)として位置づけられる。

今回の「おい、太宰」(海編)は、前作の山編と空編に続く自然を舞台に据えた 105 分間の 1 カットドラマであり、三谷監督のこだわりが随所に光る作品となっている。その舞台となったのは南伊豆・子浦海岸にあるプライベートビーチである。そこは潮の満ち引きによって砂浜の形状が著しく変化し、多くの岩や漂着物が点在するという厳しい環境にあった。そのため準備班や美術部は、キャストやカメラマンが安全かつ円滑に移動できるよう、事前に整備を行う必要があった。

本作では、これまでの作品にはなかった極めて困難な撮影方法に挑戦しており、録音部にとって最大の課題は、その環境下でいかに確実に同時録音を行うかという点にあった。前 2 作と同様、撮影現場には誰も立ち入ることができ



ドローンからカメラを受け取る撮影部

ない制約のもと、冒頭の実景をドローンで撮影し、そこからカメラマンが手持ちでカメラを受け取り、そのままドラマに突入するという手法が採用されている。しかしドローンは電波の干渉

を受けやすく、監督を含む全スタッフが映像モニターを確認できない状況にあり、そのため、撮影の進行状況を待機している全スタッフにいかにして伝達するかが、現場進行上の重要な課題となる。

録音部ではこれに対応するため5班体制で収録を行い、その音声データを現場で仮ミックスし、さらに、全スタッフに配布した携帯ラジオを通じて音声データを共有する方法を採用した。つまり、同時録音とFMラジオ送信を並行して行い、撮影およびドラマの進行を支えるという重要な役目を担うことになる。

【ドラマの構成と物語の流れ】

ドラマでは、昭和5年の浜辺で出会う太宰治（松山ケンイチ）とカフェの女給・トミ子（小池栄子）、そして現代の浜辺にいる小室健作（田中圭）の妻・美代子（宮澤エマ）という二つの時代の登場人物が描かれている。健作はその二つの時空間を何度も行き来することになり、さらに物語の鍵となるのが、父親の法要のために東京から戻った兄・打雷四郎と、その弟で地元の漁師・次郎。そして、昭和初期の世界では、父親である四郎次郎（梶原善）が登場し、1人3役という設定で構成されている。

時空を超える仕掛けは、2つの浜辺をつなぐ

洞窟内で、岩に頭をぶつけることで実現される。ここには整合性やタイムマシンの理論はなく、あくまで「不思議な世界に迷い込む」という幻想的な演出が意図されている。

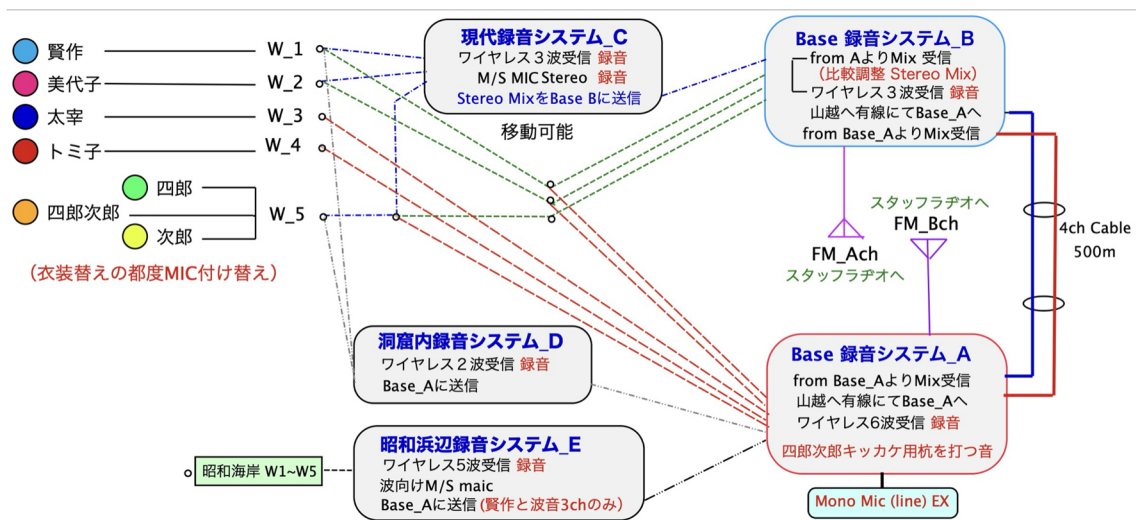
小室健作は放送作家として働く平凡なサラリーマンで、妻の美代子は学生時代の先輩。年上でしっかり者の彼女に対して、健作は頭が上がりがない存在だ。健作は太宰治に深い憧れを抱いており、ある日、美代子とともに出席した鎌倉での結婚式の帰り、道に迷ってバス停を探していたところ、地元の漁師（次郎）に出会う。しかし彼は太宰について何も知らず、健作は落胆してしまう。

その後、健作は八里が浜海岸近くで偶然にも太宰治の記念碑を発見して狂喜する。太宰に興味のない美代子は早く帰ろうと文句を言い続けている。やがて美代子と離れて一人歩き始めた健作は、古びた洞窟の入口を見つけ、恐る恐る中に入っていく。洞窟を抜けると、そこには誰もいない浜辺が広がっており、健作はいつの間にか昭和初期の世界へとタイムスリップしていた。

そこで健作が出会ったのは、なんと太宰治その人だった。太宰は女給トミ子と心中をしようとして、この浜辺にやって来たのだ。偶然にも太宰が心中事件を起こした昭和5年11月28日。憧

「おい、太宰」撮影時の録音部ワークフロー

現実～洞窟に入り昭和浜辺へのタイムスリップ



録音部ワークフロー

れの太宰に出会って感激する健作だったが、やがて太宰のわがままに振り回されるトミ子に同情を寄せることになる…。



洞窟内の様子

### 【撮影手法とサウンド収録プラン】

物語の前半、現代パートの撮影では、ドローン撮影以降はキャストの動きやカメラワークを比較的予測しやすかったことから、音声収録は徒歩でカメラに随行する形で行うこととした。コンパクトな装備であれば足場の悪いロケーションでも対応可能と判断したためである。

登場人物は4名だが、ステレオの環境音を収録するためのMS マイクを手持ちで運用し、全体で10チャンネルの収録体制を採用。また、四郎・次郎・父親役の3役を演じる梶原善氏の早替わりに対応するため、ワイヤレスマイクの付け替えおよびチェックを担当する専任スタッ



C セット担当

フを1名配置した。

C セットは、アンテナ、ミキサー、レコーダー、MS マイクなどを含む移動用の収録装備で、重量はあるが撮影現場を機動的にフォローする仕様。ミキサーの音声出力はトランスミッターを通じて、丘の上に設置された固定ミキサーB セットに無線送信される。



B セット担当

B セットでは、C セットでカバーしきれない音声をバックアップとして収録するため、スプリットアンテナによって広範囲をカバーし、キャスト4名分のワイヤレスマイクを受信。その音声ミックスは、400メートルを超える有線ラインで昭和海岸の隠れ小屋内に位置するA セットへと送られる。さらに、このミックス音声はFM 送信機を通じて待機中のスタッフ用ラジオに送信され、カメラの動きや撮影の進行状況をリアルタイムで全体に共有するという重要な役割を果たしている。

### 【昭和海岸での収録設計と通信システム】

タイムスリップした昭和海岸での撮影に際し、当初はE セットをカメラと共に移動させ、トランスミッター経由で隠れ小屋内に設置したA セットへ音声を送る案が検討された。しかし、撮影中に交わされるカメラマンとフォーカ

スマンの会話や水中での足音など、ドラマに関係ない音を多数拾ってしまうため、この案は断念。代わってE セットは、A セットからは崖で遮られ受信不能な洞窟出口付近に向けて配置した。また、MS マイクで浜辺の波音を中心に収録。物陰に身を隠しながら、A セットへはトランス



D セット担当



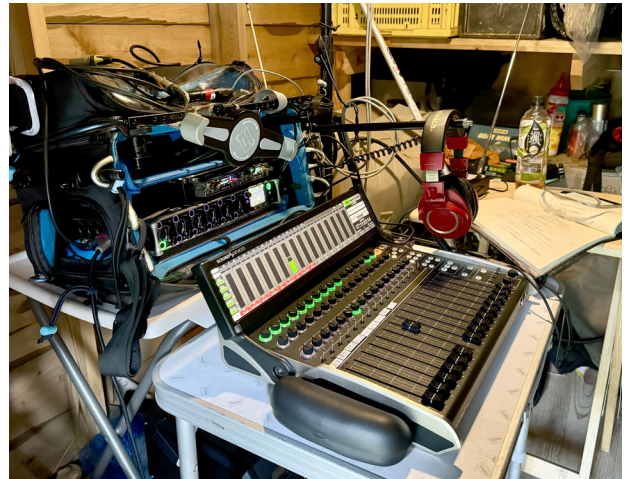
E セット担当

ミッターで送信する方式を採用した。MS マイクによる同時録音での波音は、映像とよくマッチしてとても効果的であった。

また、引き画になった時の台詞のアンビエンスとしても利用している。

A セットでは、洞窟内に位置するE セットの信号をプラグオン経由で受信し、加えてB セットからのミックス音声を有線ライン経由で受け取る。また、昭和海岸に展開する5名のキャストに装着されたワイヤレスマイクも同時に受信・ミックスする必要があり、結果として非常

に複雑な收音構成となっている。このA セットで作成された音声ミックスは、再びB セットへ有線で送り返されると同時に、FM 送信機を通じてスタッフ用ラジオに送信され、現場の状況を共有する役割も果たしている。



A セット担当：私

なお、A セットは昭和海岸での広範囲にわたる演技と俳優の動きを直接確認できなければミックスが成立しないため、小屋の軒下には小型のワイドカメラを設置した。これにより、撮影状況を常時モニタリング可能な体制を構築している。また、芝居上のきっかけ音を収録するため、軒下にはガンマイクも1本追加で設置した。

FM 放送については、A セットとB セット出力を混在できないという技術的制約から、現代パートから昭和海岸への音声送信と、昭和海岸から現代への送信とで、使用するチャンネルを分けて運用している。全スタッフには、現代からキャストやカメラが洞窟内へ入った時点で受信チャンネルを変更し、現代に戻ったら元に戻すよう事前に周知徹底した。

洞窟は全長 100m におよぶため、通信環境の確保にも工夫が求められた。D セットは昭和海岸側の出口近く、洞窟内の凹みに隠れて配置され、また洞窟が曲がりくねっている構造上、直線的な受信が難しい。そのため、昭和側入り口付近に70m の距離を見越した小型スプリットアンテナを追加設置し、受信の安定化を図っている。

(以下、次号に続く)

## 特ラ機構 事務局移転のお知らせ

日頃より当機構の運営にご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、理事会報告にてお知らせしましたとおり、このたび、業務量増加に伴う人員補充や環境整備に対応するため、事務局を移転させていただく事になりました。これを機に職員一同、気持ちを新たに、より一層の運用調整業務に専心する所存でございます。

今後とも変わらぬご協力を賜りますようお願い申し上げます。

一般社団法人特定ラジオマイク運用調整機構

### 【移転先住所】

〒 171-0021 東京都豊島区西池袋 3-1-15 西池袋 TS ビル 8 階

電話：03-5273-9806 FAX：03-5273-9808

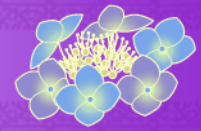
※電話番号・FAX 番号に変更はございません

### 【業務開始日】

令和 8 年 4 月 27 日 (月)



## 事務局便り



### 再免許状のお届け

令和 8 年 5 月 31 日に有効期限を迎え、事務局扱いでマイクの免許更新手続きをした新免許状は、4 月下旬以降に各総合通信局から交付される予定です。事務局にて必要なデータを記録した後、当該会員のご担当者宛に送付させていただきます。なお、送付方法につきましては、免許状の電子化に伴い、原則メール送付とさせていただきます。

会員の皆さまには、メールアドレスの登録・確認をいただきますようお願い致します。

### ■令和 8 年度機構関係費用のお振込みをお願いします

令和 8 年度当機構関係費用（年会費・運用調整費）の請求書を、全会員社に発送させていただきました。納入期限は令和 8 年 7 月 31 日(金)です。未納金（滞納金）がある会員社は、合わせて早めのお振込みをお願いします。

